

### 3 流域の社会状況

#### 3-1 土地利用

流域の土地利用は、山地等が約 72%、水田や畑地等の農地が約 26%、宅地等の市街地が約 2% となっている。耕地面積は全国一高い比率となっている。

青森県は全国のリンゴ栽培面積の約半分を占める一大生産地であり、県内収穫量の約 9 割は岩木川流域の市町村が占めている。

また、岩木川流域は津軽平野の大半を占め、水田が多く、青森県の米の生産高の約 6 割にもなっている。

岩木川流域は青森県農産物に代表される「米とリンゴ」の主産地となっている。

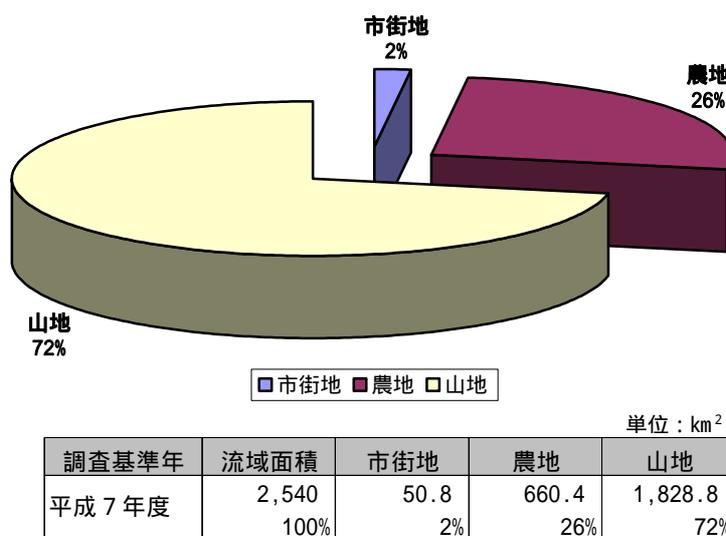
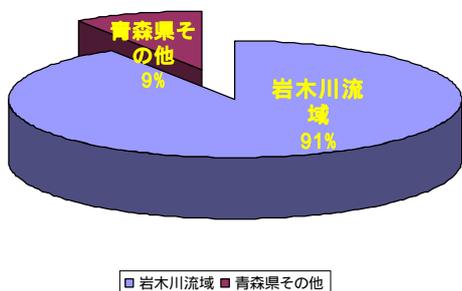


図 3-1 岩木川流域の土地利用面積

(出典：河川現況調査(調査基準年：平成 7 年度末))

岩木川流域におけるリンゴの生産割合 (H14年)



岩木川流域における米の生産割合 (H14年)

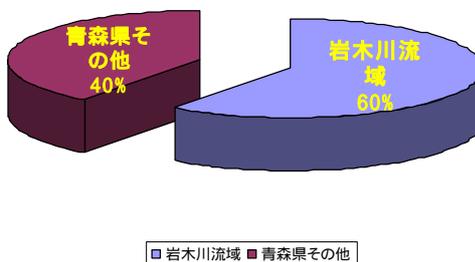


図 3-2 県内生産量のうち岩木川流域が占める割合

(出典：「農林水産業の動向」青森県 HP)

### 3-2 人 口

岩木川流域の人口は、弘前市、五所川原市、黒石市の3市に集中しており、流域人口の半分を越える。

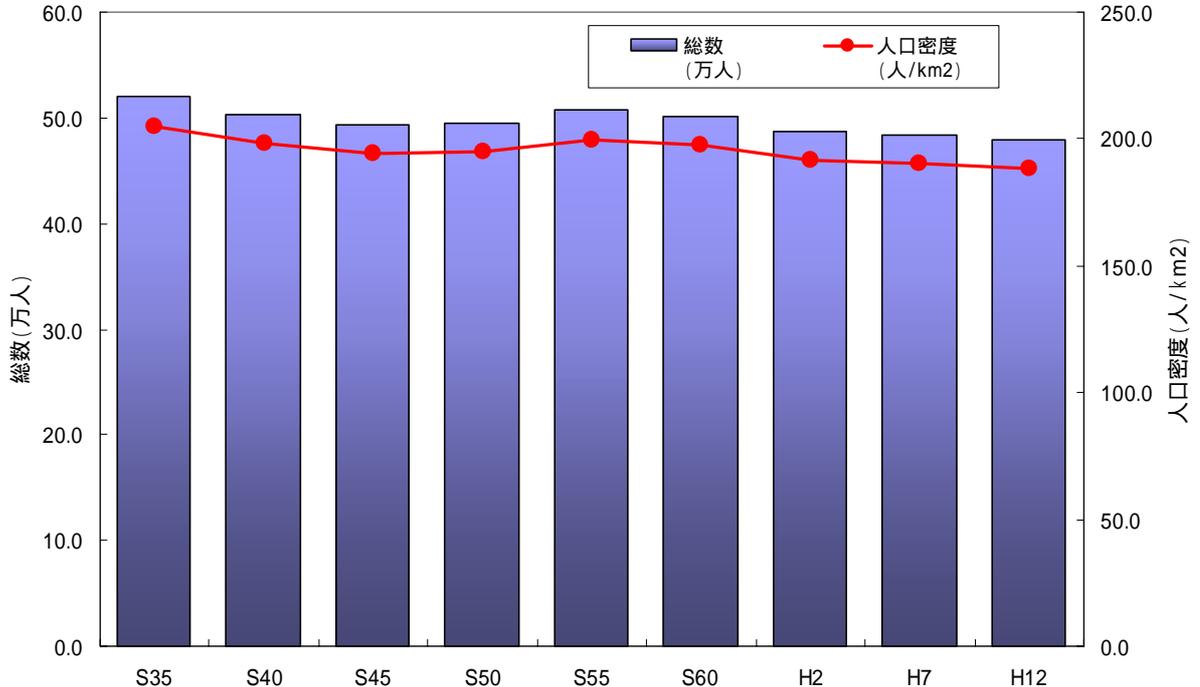
岩木川流域の総人口は減少傾向にあるのに対し、3市ではそのような傾向は見られず相対的に3市の人口集中が進んでいる。

岩木川流域人口の青森全県に対する比率はおおむね3分の1である。

**表 3-1 岩木川流域の人口の推移と人口密度**

|     | 青森県        |                              | 岩木川流域      |                                       |                              | 3市合計       |                                 |                              |
|-----|------------|------------------------------|------------|---------------------------------------|------------------------------|------------|---------------------------------|------------------------------|
|     | 総数<br>(万人) | 人口密度<br>(人/km <sup>2</sup> ) | 総数<br>(万人) | 岩木川流域<br>総人口の青<br>森県総人口<br>に占める割<br>合 | 人口密度<br>(人/km <sup>2</sup> ) | 総数<br>(万人) | 3市総人口の<br>岩木川流域<br>総数に占め<br>る割合 | 人口密度<br>(人/km <sup>2</sup> ) |
| S35 | 142.7      | 148.5                        | 52.1       | 37%                                   | 205.1                        | 24.0       | 46%                             | 364.9                        |
| S40 | 141.7      | 147.5                        | 50.3       | 36%                                   | 198.0                        | 23.8       | 47%                             | 361.9                        |
| S45 | 142.8      | 148.6                        | 49.3       | 35%                                   | 194.1                        | 24.3       | 49%                             | 369.5                        |
| S50 | 146.9      | 152.9                        | 49.5       | 34%                                   | 194.9                        | 25.3       | 51%                             | 384.7                        |
| S55 | 152.4      | 158.6                        | 50.7       | 33%                                   | 199.6                        | 26.7       | 53%                             | 406.0                        |
| S60 | 152.4      | 158.7                        | 50.2       | 33%                                   | 197.6                        | 26.6       | 53%                             | 404.5                        |
| H2  | 148.3      | 154.4                        | 48.7       | 33%                                   | 191.7                        | 26.2       | 54%                             | 398.4                        |
| H7  | 148.2      | 154.2                        | 48.4       | 33%                                   | 190.6                        | 26.6       | 55%                             | 404.5                        |
| H12 | 147.6      | 153.6                        | 47.8       | 32%                                   | 188.4                        | 26.5       | 55%                             | 403.5                        |

(出典：国勢調査)



**図 3-3 岩木川流域の総人口と人口密度の推移**

(出典：国勢調査)

### 3-3 産業経済

流域内における就業者数は減少傾向にある。昭和55年から平成12年の産業別の構成で見ると第一次産業が減少しているのに対し、第二、第三次産業は微増している。

また、流域内の製造品出荷額は増加傾向にあるが、農業生産額は横ばい状況にある。

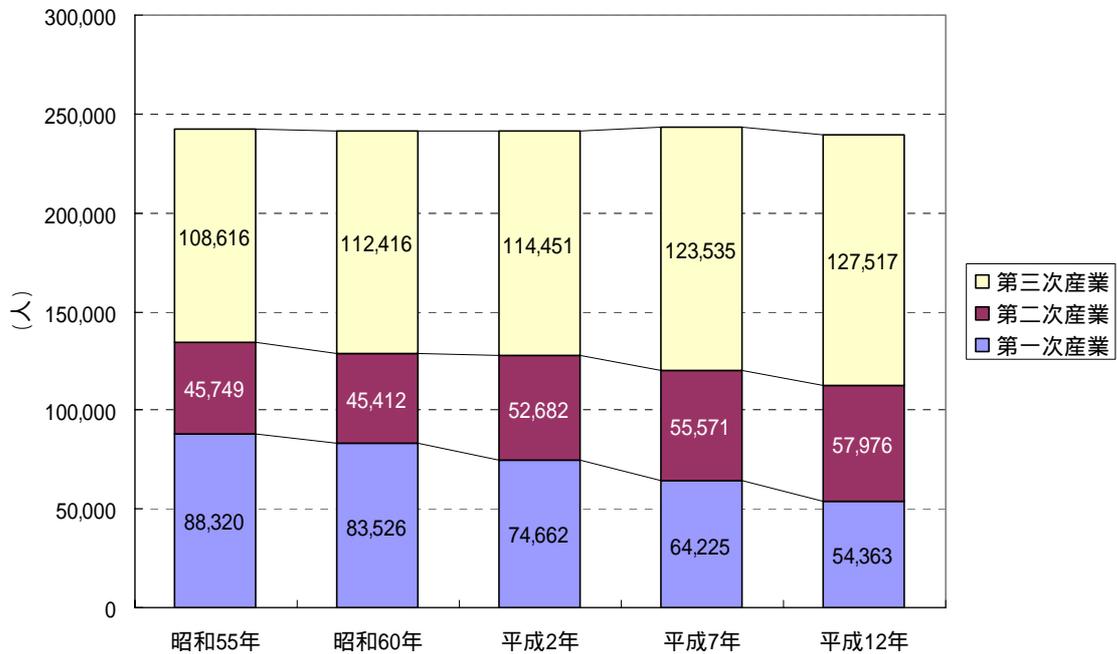
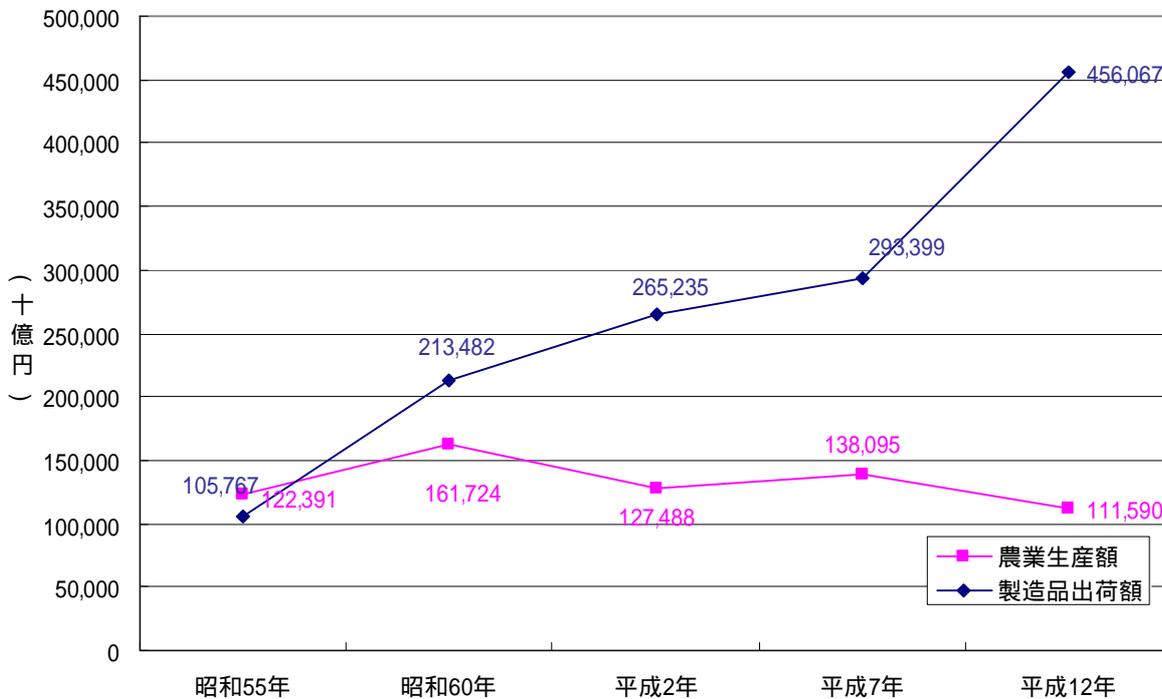


図 3-4 岩木川流域の産業別就業者数の推移

(出典:河川現況調査、平成12年は国勢調査)



(出典:河川現況調査、平成12年は経済産業省工業統計  
農林水産省生産農業所得統計)

図 3-5 岩木川流域の農業生産額・製造品出荷額の推移

### 3-4 交通

岩木川流域には、東北縦貫自動車道、JR 奥羽本線、JR 五能線、津軽鉄道、国道 7 号、101 号、339 号等の基幹交通施設に加え、津軽自動車道の一環として浪岡五所川原道路を整備するなど、交通の要衝となっている。

JR 奥羽本線は福島から青森までを結ぶ鉄道路線で明治 38 年 9 月に開通した。

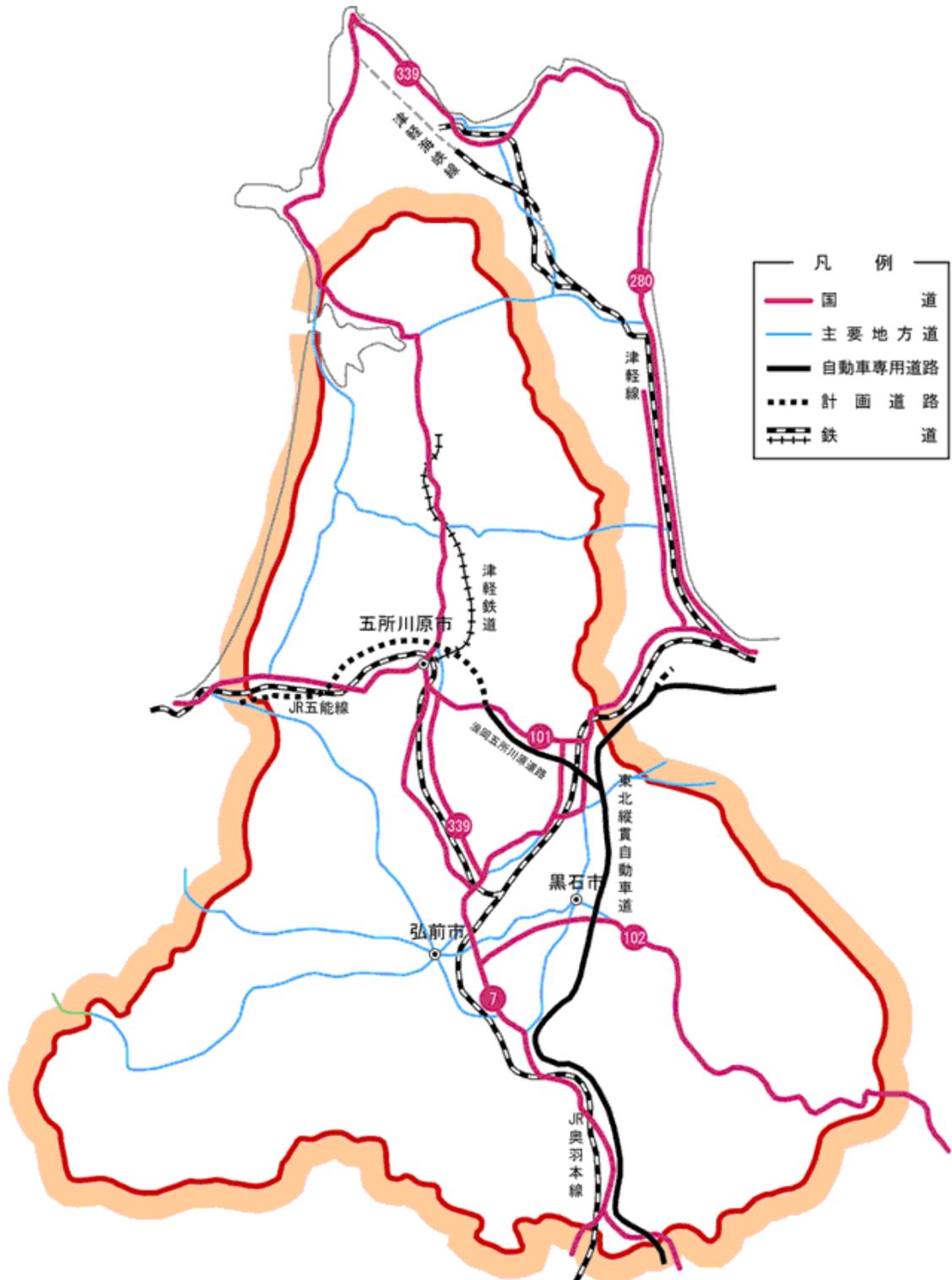


图 3-6 岩木川流域の交通網

### 3-5 流域の動向

青森県ではこれまで築いてきた社会基盤や地域特性を積極的に生かした新しい青森県づくりの基本計画となる「生活創造推進プラン」(策定年月日：平成 16 年 12 月)を策定している。

生活創造推進プランでは、青森県づくりの目標として「生活創造社会～暮らしやすさのトップランナーをめざして～」を掲げ、めざすべき 5 つの姿として次の将来像を挙げている。

| 地域の将来像                    |  |
|---------------------------|--|
| 1. いきいきと働ける豊かな社会          | 地域経済に新たな活力が生まれ、都市(まち)や村や人がいきいきしている社会       |
| 2. 健やかで安心して暮らせる社会         | 一人ひとりの命が輝き人と人とがしっかりとした絆で支え合う社会             |
| 3. 環境と共生する循環型社会           | 豊かな水・自然環境が次代に引き継がれ、自然循環の先駆けとなる取組が進められている社会 |
| 4. 安心・安全で快適な社会            | 安全・安心がしっかりと確保され、生活の可能性が広がる社会               |
| 5. 青森の豊かさを知り、夢をもって未来を拓く社会 | 青森の良さと可能性を知り、時代を担う人づくりが進められている社会           |

上記の将来像を実現するための具体的施策として、当面の 5 年間(平成 16 年～20 年)で県が重点的に推進する取組を 10 本のプロジェクトとしてまとめている。

| 【主要施策】        |   |
|---------------|---|
| 青森県重点推進プロジェクト |   |
| プロジェクト No1    | しごと空間創造プロジェクト<br>厳しい雇用状況を打開するため、雇用の拡大と働く場が確保できる生活創造社会を実現させるプロジェクト                               |
| プロジェクト No2    | 「攻めの農林水産業」総合販売戦略プロジェクト<br>県産品の販売促進運動により、安全・安心・高品質な県産品の認知度、評価が高まり、新たな県産品の発掘と販売促進を図るプロジェクト        |
| プロジェクト No3    | あおもりツーリズム創造プロジェクト<br>自然、四季の彩り、安全・安心な農林水産物、食、地域文化・生活文化、歴史・風土などの地域資源を訪問者に満喫してもらう新しい観光を実現させるプロジェクト |

- プロジェクト No4 あおもり型産業創造育成プロジェクト  
将来性の高い先端型産業や食品加工など地域特性を生かした地域産業の振興により、経済の新たな展開を図るプロジェクト
- プロジェクト No5 健康といのちの育み推進プロジェクト  
生涯を通じて心身ともに健康で元気に長生きできる環境づくりを推進するプロジェクト
- プロジェクト No6 あおもり循環型社会創造プロジェクト  
県民・企業・団体・行政が連携・協力して資源循環に取り組み、可能な限り廃棄物の減量化・リユース・リサイクルを推進し、環境への負荷の少ない循環型社会の形成をめざすプロジェクト
- プロジェクト No7 美しいふるさとの水循環推進プロジェクト  
生活創造社会を支える恵まれた水循環を揺るぎない形で次世代に引き継ぐとともに、優れた自然環境を保全するプロジェクト
- プロジェクト No8 地域安全・防災推進プロジェクト  
県民の関心が高い安全・安心にかかわる分野である防犯対策、交通安全対策、自然災害の防止・危機管理体制の充実を図るプロジェクト
- プロジェクト No9 ユビキタスあおもり推進プロジェクト  
ユビキタスネットワーク技術の利活用により、県民生活の向上や産業の活性化、行政サービスの向上などが実現される「ユビキタスネットワーク社会」の推進を図るプロジェクト
- プロジェクト No10 自立する人づくり推進プロジェクト  
学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を担いながら、一体となって自立する人づくりを推進し、社会の一翼を担い、社会に貢献できる人材を育てるプロジェクト

(出典：「生活創造推進プラン」青森県 HP)